

## 【小施策評価(平成30年度実績評価)】

### 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	歴史文化課	
施策	11	歴史・文化の継承	評価 責任者	福田 淳	内線 7350
小施策	11-2	博物館等施設の整備・充実	評価 シート 作成者	畠山 俊明	内線 7351

### 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
博物館等施設は、その適切な管理運営と計画的な保全、整備に努める必要がある。		各施設の老朽化対策を進め、必要な施設整備を行う。また、各施設では、その施設の特色を生かした事業を展開し、市民へ学習機会を提供し、歴史や文化に対する理解が深まるような運営を行う。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民等 博物館施設		市民等が地域の歴史や文化を知る。 魅力的で快適な施設環境になる。

### 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価			
				成果点	⇒	成果の要因分析	
指標① 博物館施設入館者数	単 位	目指す方向					
	人	↗					
当初値 (H25)	360,816	R1目標値	361,937	R6目標値 363,437			
<p>・入館者が、前年度に比べ増加したのは、9施設のうち、原敬記念館、もりおか歴史文化館の2施設であった。</p> <p>・他の施設は入館者が前年より減少したが、9施設全体では横ばいで、目標値を超えている。</p>				<p>・施設の周年事業や国が推進した明治・戊辰150年事業等に伴い、報道機関等に取り上げてもらえたことがPRにつながったと推察される。</p> <p>・対象となる市民に応じて、周知の方法や開催方法を工夫するなど、利用促進を図った。</p>			
<p>・入館者数の減少。</p> <p>・施設・設備の老朽化が進み、修繕対応が追いつかず、来館者の受入環境が改善できない箇所がある。</p> <p>・施設敷地の樹木の繁茂等、環境改善が容易にはできない箇所がある。</p>				<p>・入館者からは、魅力的でわかりやすい展示説明等をはじめ、使いやすい快適な施設環境の維持・整備が求められる。</p> <p>・用意できる予算は限られており、未対応の修繕箇所が累積している。</p>			
問題点				⇒			問題の要因分析

### 今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<p>★ 各種企画展をはじめ、魅力的で話題性を捉えたイベントの開催のほか、各施設の情報案内・広報の強化を図るとともに、施設外へ出向く「出前講座」の充実に取り組む。</p> <p>★ 学校と連携し、教育課程や子どもの校外活動の利用促進を図る。</p> <p>★ 他団体のイベント等と連携するなど、機会を捉えて幅広くPRを行い、施設への誘導を図る。</p> <p>★ 玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館の整備を進める。</p> <p>★ 施設や設備の修繕、樹木の繁茂等については、優先順位を検討し、計画的に対応していく。</p> <p>★ 文化財保存・活用地域計画の策定に係る検討において、博物館等施設での保存・活用のあり方も検討していく。</p>	